

# まほろん

Shirakawa since 2007



通信



◆特集◆

## まほろん “春たけなわ”

～団体でのご利用について～

◆特集◆

縄文時代はじまりの頃

■コラム■

物の名前ってむずかしい

■シリーズ 収蔵資料紹介 29■

2万年前の狩人が置いていった槍

# まほろん “春たけなわ”

## ～団体でのご利用について～

この春から始まる新しいメニューなど、まほろんの団体利用についてご案内します。

文：廣川 紀子（主任学芸員）

桜の開花の便りが届くと、新入生、新入社員の話題が続き、新しいことづくめの春は何かを始めたくなる季節ですね。

まほろんも4月に入ると、新小学6年生の歴史学習に合わせて、連日、団体で来館されるお客様で賑わいます。まほろんでは、団体での受け入れ体制を整えていて、事前にご予約いただいたお客様には担当職員がついて、ご希望に合わせて展示室のご案内や、各種体験学習のお手伝いをさせていただいております。体験プログラムの詳細については、まほろんホームページでもご覧いただけます（URL：<http://www.mahoron.fcp.or.jp/>）。

そのような体験プログラムのひとつに、今年度から『グループで考えよう（うつわ・はもの）』と『まほろんお仕事見学』が加わりました。『グループで考えよう』は、遺跡から見つかった本物の資料を使って、グループごとに考古学の謎解きをしてもらいます。『まほろんお仕事見学』は、展示室や収蔵庫などの



火おこしに挑戦

バックヤードの施設を巡りながら、まほろんの役割や職員の仕事内容についてご案内します。小学校などの学校でのご利用はもちろんですが、趣味の



粘土で勾玉をつくろう

集まりや生涯学習活動などでの大人の社会科見学にもいかがでしょうか？  
少しでも気がかかるところがありましたら、下記の電話番号までお気軽にお問い合わせください。この春から始められる、まほろんでの体験をご提案いたします。

**電話 0248-21-0700**

物の資料を使って、グループごとに考古学の謎解きをしてもらいます。『まほろんお仕事見学』は、展示室や収蔵庫などの

バックヤードの施設を巡りながら、まほろんの役割や職員の仕事内容についてご案内します。小学校などの学校でのご利用はもちろんですが、趣味の集まりや生涯学習活動などでの大人の社会科見学にもいかがでしょうか？

少しでも気がかかるところがありましたら、下記の電話番号までお気軽にお問い合わせください。

### 団体利用での主な体験活動

プログラム名	対象
じょーもんファッション	幼児・園児
土偶（どぐう）ペンダントづくり	幼児・園児
ドキ土器スタンプに挑戦	幼児・園児
粘土で勾玉をつくろう	幼児・園児
土鈴（どれい）づくり	学校
土器や石器を観察しよう	学校
ミニチュア土器・埴輪（はにわ）づくり	学校
昔の道具にふれてみよう	学校
勾玉（まがたま）づくり	幼児・園児・学校・一般
火おこしに挑戦	幼児・園児・学校・一般
昔のあそび・昭和のあそび	幼児・園児・一般
本格的な土器づくり	学校・一般
組紐づくり	一般
拓本に挑戦	一般
グループで考えよう（うつわ・はもの）	学校
まほろんお仕事見学	学校・一般

表紙の1冊

2月17日（日）に行われた「まほろん冬まつり」では、今年も多くの皆様に来館していただきました。なかでも、磐梯山の噴火について学びながら、チョコで磐梯山をつくる「ショコラ de バンダイ」は、溶かしたチョコレートを磐梯山の形の鑄型に流し込み、冷やして固めるという体験。このイベントでしか体験できない珍しいメニューを楽しんでいただきました。

# 縄文時代 はじまりの頃

研究者の意見が分かれている理由はどこにあるのでしょうか？

文：門脇 秀典（専門学芸員）

4月から、こどものための特集展を実施するというので、小学校の社会科教科書を開いて見ることになりました。最近の教科書は、ビジュアル的に優れており、まるで旅行雑誌を読んでいる気分になります。とはいえ、日本の歴史が縄文時代からはじまることについて、旧石器時代の研究者としては少し残念に思います。

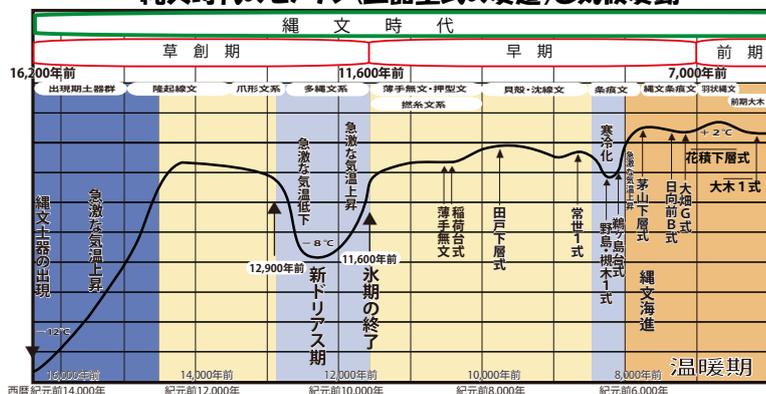
さておき、旧石器時代と縄文時代の境目をどのように考えるか、縄文時代のはじまりをいつにするのかについては、さまざまな意見があります。ある研究者は土器や弓矢の出現をもって、縄文時代のはじまりと考えます。その年代は、およそ今から16,200年前頃、今より気温が10度も低かった最終氷期の最中にあたります。

ひと昔前の教科書では、「今から12,000年前頃、氷期が終わり温暖な気候になる過程で縄文土器が登場した」と書かれています。最終氷期の終わりについて、最近の学説では、今から11,600年前頃に、たった3年くらいの短い期間で急激に環境が変わったといわれています。

一方、定住化つまり竪穴住居の出現を画期的な出来事ととらえ、縄文時代のはじまりととらえる研究者もいます。その年代は今から13,000～11,000年前頃とされ、およそ最終氷期の終末段階と考えられます。つまり「土器出現派」と「定住派」の間では最大で約5,000年の開きがあります。この期間を「土器出現派」は縄文時代草創期とよび、「定住派」は晩期旧石器時代もしくは移行期とよびます。

この2つの考えはどちらも重要で、現在でも決着していません。近年では、1年ごとに出来る福井県水月湖の年縞堆積物を基に、放射性炭素年代研究が進展し、この成果が「世界標準のモノサシ」として採用されています。

縄文時代のモノサシ(土器型式の変遷)と気候変動



また、水月湖の年縞堆積物は、花粉化石などを研究することで当時の自然環境や気候を復元し、それが「いつ」「どれくらいの期間」で変動したのかを正確に読み解くことができます。これにより縄文時代のはじまりの年代についても、古環境の変遷との対比がより活発に議論されることになるでしょう。

コラム

『物の名前ってむずかしい』

文：阿部 知己（副主幹）

あきカン、ヤカン、いや〜ん♥  
バカあん、などなど、「カン」のつく言葉は、いろいろ思いつきますよ。

土へんに、甘いと書いて「𤑔」。この漢字は「かん」と読みます。「𤑔」とは、今から1500〜1700年前ごろ（古墳時代）、お祭りなんかに使われていた底の丸い、小さな素焼きの壺のことをさして、「かん」とよんでいます。壺の中には、何を入れていたのでしょうか？お酒などの液体や、ときにはお供えものとして食べ物でも入れたのでしょうか。「甘」という漢字があるので、甘いものでも入れたのでしょうか？みなさんなら、何をいれますか？

どこかで、中みのはいついていない空き「カン（𤑔）」をみつけても、投げ捨ては「あカン」よ。



郡山市正直 A 遺跡出土𤑔（かん）

# 2万年前の 狩人が置いて いった槍

新地町赤柴遺跡の尖頭器について紹介します。

文：山元 出（副主幹）

4月16日から開催している「こどものための特集展」に、新地町赤柴遺跡から見つかった木の葉形の尖頭器が展示されています。これは現代に至るまでに迎えた最後の氷河期、後期旧石器時代という時代の石製の槍先と考えられるものです。

この石器が出土したのは、2011年の発掘調査でした。東日本大震災直後の6月だったこともあり記憶によく残っています。黒い腐植土を重機を使って掘っているときに、「なぜかここだけ赤土の中に石が入っているなあ」と思った場所がありました。その後、赤土の表面をきれいに削っていると、その場所からこの尖頭

器が顔を出したのです。

この尖頭器は、先端左側にある大きな剥離（打ち欠いた跡）が特徴です。先端から雨樋のような細長い剥離が縦に入ることから、考古学の世界では「有樋尖頭器」と呼ばれています。有樋尖頭器は関東地方と中部地方に多くみられる石器ですが、分布範囲は、北は青森県から、南は静岡県と現代の東日本に広く及んでいます。



新地町赤柴遺跡出土の尖頭器

この石器が流行した年代はおよそ2万年前と考えられていて、この石器の近くで見つかった炭の化学分析による年代も近い年代を示しています。また、石の素材として珪質頁岩が用いられています。この石材は現代の東北地方の日本海側地域が主要な産地で、そこから運び込まれたと考えられます。

赤柴遺跡では、この石器が出た後さらに周辺の赤土の中の調査を進めたところ、切る、削るなどに使われた石器のほか、礫群と呼ばれる当時の人が食べ物の調理に使った焼けた石の集まりが5カ所見つかりました。そこは、約2万年前の日本海から太平洋まで東北地方をまたにかけた狩人が生活した場所だったのです。

## 編集後記

新しい年度になり、まほろんにも新しいメンバーが加わりました。また、今号でもご紹介した展示や体験などの新企画も加わります。5月1日から元号も新しくなりますね。新時代の到来にあわせて、新しくなるまほろんを「堪能ください」。

## まほろん掲示板

- |   |   |
|---|---|
| 4/16 (火) ~ 5/12 (日)<br>「こどものための特集展」         | 7/7 (日) 第2回まほろん森の塾                      |
| 4/27 (土) ~ 5/6 (月・祝)<br>ゴールデンウィーク特別体験       | 7/21 (日)・28 (日)・9/1 (日)<br>カラムシコースターづくり |
| 5/25 (土) 第1回館長講演会                           | 7/27 (土) 第2回館長講演会                       |
| 6/15 (土) ~ 8/25 (日)<br>企画展「時を測る－縄文・弥生土器の年代」 | 8/10 (土) 第2回文化財講演会                      |
| 6/16 (日) 第1回まほろん森の塾                         | 8/4 (日) 土器づくり初級編                        |
| 6/22 (土) 第1回文化財講演会                          | 8/9 (金) 文化財基礎研修                         |
|   | 8/10 (土) ~ 18 (日) 夏休み特別体験               |
|   | 8/25 (日) 縄文時代のオカリナづくり                   |

★行事名・日程は変更になる場合があります。

## まほろん 通信 vol. 71

平成31年4月16日発行

開館時間 9:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで)  
休館日 月曜日 (月曜日が祝日・休日の場合にはその翌日ですが、GWとお盆期間中は開館します) / 国民の祝日の翌日 (土・日曜日に当たる場合は開館 / 年末年始 (12月28日 ~ 1月4日))  
入館料 無料 (体験学習の内容によっては、材料費が必要な場合があります。)

お問い合わせ



福島県文化財センター ● 白河館

〒961-0835 福島県白河市白坂一里段 86

☎ 0248-21-0700

fax 0248-21-1075

ホームページ [まほろん](#) [検索](#)

